



# 南光台通信 第14号

「竹の水てっぽうできあがり〜！」



びぽっと南光台、夏のイベント「三丁目ひろば」での一枚です。

当日はあいにくの雨でしたが、竹ぽっくりや竹の水鉄砲を作りました！電動ドリルを使って竹に穴を開けたり、のこぎりで竹を切ったり、夏休みのいい思い出になったかな〜。

発行： 社会福祉法人 つどいの家 地域生活サポートセンターびぽっと南光台

発行責任者： 渡部 正史 (管理者) 発行日：2018年8月24日

住所： 〒981-8003 仙台市泉区南光台3丁目1-24

連絡先： TEL022(779)7341 FAX022(779)7342



# 介護人体験

～レスパイト～



東北福祉大学の学生2名が、レスパイトの介護人体験に来てくれました。お二人とも最初は不安な気持ちだったようですが…。

❖障がいのある方とコミュニケーションがうまくとれるか不安がありましたが、それぞれの個性を感じることで、少しずつ会話ができました。

印象に残った活動は一緒にお昼ご飯の買い出しに行ったことです。それぞれの歩くペースに配慮し、声を掛けながら歩くことができました。また、サークル活動で練習をした車いすの操作を実際に行うことができました。



❖最初は不安があり、接し方で戸惑うことがありましたが、少しずつ仲良くなることができました。障がいのある方と過ごす中で、言葉で通じないところは、相手の気持ちを考え、表情を見るなどして意思疎通を図ることが大切だと学ぶことができました。短い時間でしたが、充実した1日を過ごすことができました。

利用者さんと実際過ごしてみると、いろいろな気づきがあり、笑顔あふれる良い時間になったようです。(\*^\_^\*)



## 泉区よめごと会議って？

※よめごと：世迷いごと、泣きたくなっちゃうことだよ。

仙台市内の各区には『区障害者自立支援協議会』があります。自立支援協議会は障がいのある人たちへの支援をしている人たちがあつまって、支援していくうえでの困りごとを話し合ったり学び合う場です。

それをつみかさねることで、日々の支援に活かしたり支援者間で顔の見える関係づくりする他、よりよい支援をしていく為の仕組みや地域づくりにも取り組んだりしています。

泉区でも毎月、『支援者同士のつながり』、『お互いのスキルアップ』、『地域課題の解決』をめざして、テーマを決めて集まっています。その名も「よめごと会議」です。ご本人さんの話を聞いてみよう！ 事業所さん見学に行ってみよう！ 支援に悩んでいるケースを泉区のケースとしてみんなで考えてみよう！ お友達を連れて来てネットワークを広げよう！ などなど自由な発想でテーマを決め、ざっくばらんに話しあっています。1グループ8名くらいに分かれて近い距離なので、気兼ねなく語り合うことができます。事務局の皆様は苦勞されていると思いますが、毎月開催してくれているので、参加している私たちは本当に学びの場になりますし、顔の見える関係性も作れ、日頃の悩みやよめごとを共に解決し合え、共に作っていくことができるとても素敵な場です。

ここで学んだことや、経験したことは事業所に持ち帰ってさらに広がっていくので、今後も継続して参加していきたいと思います。興味のある事業所の方はぜひご参加してみてくださいは？（相談・檜山）



# 研修報告



## ★アーチル発達障害基礎講座

6月下旬、仙台市北部発達相談支援センター(北部アーチル)で定期的に主催している基礎講座を受講しました。今回は「発達障害児者支援の基本的な考え方と連携の必要性について～本人・家族を中心として地域で生活を支えるということ～」がテーマでした。

テーマにも含まれている「連携」ということばは、福祉や医療の現場でよく使われます。本人・ご家族・関わっている関係機関で「本人・ご家族のニーズ」「生活スケジュール」「少し先(将来)を見据えた支援の方向性」など生活の中でポイントになることを共有します。

その上で、本人・ご家族も含んだチームとして共通した意識を持って、生活のなかでの課題の解決や希望する生活、夢の実現にむけて取り組んでいきます(=連携・協働)。チームとして共通した意識を持つことでそれぞれの役割も明確になり、本人が必要なサポートを適切に受けることにもつながります。講座では、チームのなかでそれぞれの役割に、それぞれが期待をし、その期待に応え役割を果たすことが重要だとも話がありました。

お互いの顔と顔が見える関係性が土台であり、チームとして意識をすることが、お互いの立場を尊重し、それぞれの役割を果たすことが期待できるのだと、改めて連携の必要性を意識する機会となりました。

(相談・加藤彩乃)

## ★同行援護研修

6月に4日間同行援護研修に行ってきました。同行援護は視覚障がいのある方の外出時のサポートをするために必要な研修です。この研修を受講し、関わる為の基本的なことを学び、終了証をうけることで、同行援護を実施できるようになります。

同行援護で支援する人は、視覚障がいのある方の目になる必要があります。歩行時には曲がるタイミングや段差や障害物などの情報を伝えます。買い物をする時などは食品・衣類などの色・形・模様など私たちが目で見えているものを想像できるように細かく伝えます。『もう少し前』『大きめのトマト』と言う表現を使う事がありますが、視覚障がいのある方は、曖昧な表現をしてしまうと、判断できません。『3歩前。』『拳一個くらい』等、数字など分かりやすく伝える必要があります。私たちは普段無意識に目からの情報で『3歩前へ』と判断しますが、視覚障がいのある方は、言葉の情報が頼りになります。そして、書かれている看板やチラシなどを代わりに読んだり、周りの人の様子や風景などの臨場感ある情報を伝える事も大切です。

私は視覚障がいのある方と関わる時に、普段から何気なく話している言葉を使ってしまうので、相手へ伝わりやすい言葉を日ごろから意識して使う事が大切だと感じました。

(ヘルプ・今野)

# そら春企画に参加しました！

6月3日、東北福祉大学、知的障がい者支援サークル「そら」が企画する恒例のイベントに「すてっぷ・はうす」利用者さんと職員、介護人で参加しました。法人内のレスパイト事業所「すきっぷ」、「だいち」のみなさんも一緒に参加しました。当日は様々な企画がありました。始めは、利用者さんと一緒に当日のネーム作り、その後は魚釣りゲーム、「そら」にとっておきのクイズラリー等々、盛りだくさんの一日でした。

利用者さんは「こんなに魚を釣ったよ、全部持ち帰っていいかな♪」とゲームをととても楽しんだり、学生さんとお話して盛り上がったりしていました。いつも素敵なイベントを開催していただきありがとうございます。

また次回の企画を楽しみにしています。(レスパイト・佐藤)



## 夏休みイベント

### 「三丁目ひろば」開催

8月9日 ぴぽっと南光台にて夏休み特別企画  
第1回「三丁目ひろば」を開催しました。

台風13号が近づく中、今回は地域の小学生2名が  
参加してくれました!(^^)!

迫力ある青竹に2人とも目をキラキラさせ、使い慣れないノコギリ、ドリルを駆使しながら、初めて作る水てっぽうや竹ぼっくり、ぺんたでの作成に真剣に取り組んでいました。完成した作品を手にとっても満足げな様子でした。

また、今回の開催に合わせて、「お包みの会」でお馴染みの、みえ先生や学生の皆さんのご協力を頂き、とても素敵な七夕飾りを作って館内を彩ってくれました。

貴重な青竹を提供して下さった山口様、当日お手伝いを頂きました福祉大の「そら」のサークルの皆様、その他たくさんの方々にご協力いただきました。本当にありがとうございました。

今後も様々なイベントを通し地域のみなさまとの交流を深めていきたいと思っています。

ご参加を心よりお待ちしております。(レスパイト・児玉)



# ぴぽっと南光台バザー♪

## 「三丁目市」

### バザー物品大募集

## 2018年10月5日(金)

**10:30~14:30** ……3年ぶりにバザーを開催します!!

ご家庭に眠っているお宝・まだまだ使える食器・贈答品  
新品に近い衣類・・・壊れていないおもちゃなどなど・・・  
バザー品を大募集しております! 皆様のご協力をお願いいたします☆

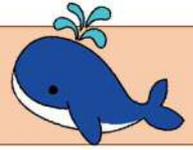


【3年前の写真です】

何かください」と、言っというて甚だ失礼ではありますが・・・  
「使えるもの!」に限ります。古着は「これはまだ絶対に着れる!」と、いうもの  
おもちゃや食器は「壊れていないもの」をお願いいたします。  
そうでないと・・・残ったものは「ゴミ」として処分しなくちゃならないんです。  
ゴミを出すのにもお金がかかってしまうのです。  
あ、そうそう・・・人形やぬいぐるみだけは勘弁してください。  
処分するときとっても悲しくなっちゃうんです。よろしくをお願いいたします。



# 介護人さん・ヘルパーさん大募集



★介護人は、ぴぼっと南光台の敷地内にある「すてっぴ・はうす」(レスパイトサービス事業)にて、障がいのある利用者と、利用者の意思に沿って一緒に過ごします。  
必要に応じて、排泄や食事の介助もします。

## ☆手当☆

日中介護 時給 900 円、 宿泊介護 7,400 円

## ☆応募条件☆

資格は問いませんが面接の上、すてっぴ・はうすと生活介護事業所等で一定時間の現場実習をしていただきます。

★ヘルパーは、しょうがいのある方へのホームヘルプサービスを行う支援者のことです。

利用者宅に伺い身体介護(入浴介助など)、家事援助(料理・掃除など)や通院に同行したり、利用者の行きたいところへ一緒に外出したりします。

## ☆手当て☆

日中(8:00~18:00) 時給 1,100 円(業務手当込)

※早朝・夜間の割増あり。

## ☆応募条件☆

ホームヘルパー1、2級、介護福祉士、看護師、介護職員初任者研修を修了した方

※詳しくはお気軽にお電話ください。 ★電話 022-779-7341 (高橋・佐伯)



すてっぴ・はうすに登録をしている「須藤綾子さんのお祖母さま」より、**マッサージチェア**を寄贈していただきました。南光台職員のリフレッシュツールとして日々活用させて頂いております!!

本当にありがとうございました(\*^。^\*)

## ～編集後記～

厳しい暑さも和らぎ、朝晩の気温も下がり、しだいに秋を感じる頃となりました。

つどいの家のマラソンブームに乗っかり、県内のマラソン大会に出始めました高橋和也です。走り続けていくと自然とお腹周りのお肉も少しずつ落ちていき、体が軽くなった気がします。また、目標を持って何かに取り組むことの大切さを改めて感じております。

今月は地域の方へ向けたイベントとして、「三丁目ひろば」と題し、地域のこども達を招いて、竹ぼっくり作りや竹の水鉄砲作りをしました。少しずつではありますが、地域の方々と交流の機会を持ち、ぴぼっと南光台が地域の方々のつどいの場になればと考えております。

次回は10月5日にバザーを開催予定です。多くの方のご来場、職員一同お待ちしております。

(記：高橋和也)